

# 第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

3-②

## 施策

安心と安らぎのある清潔で快適な生活環境の確保を図る

## 担当部局

環境リサイクル局, 建設局, 教育委員会, 保健福祉局

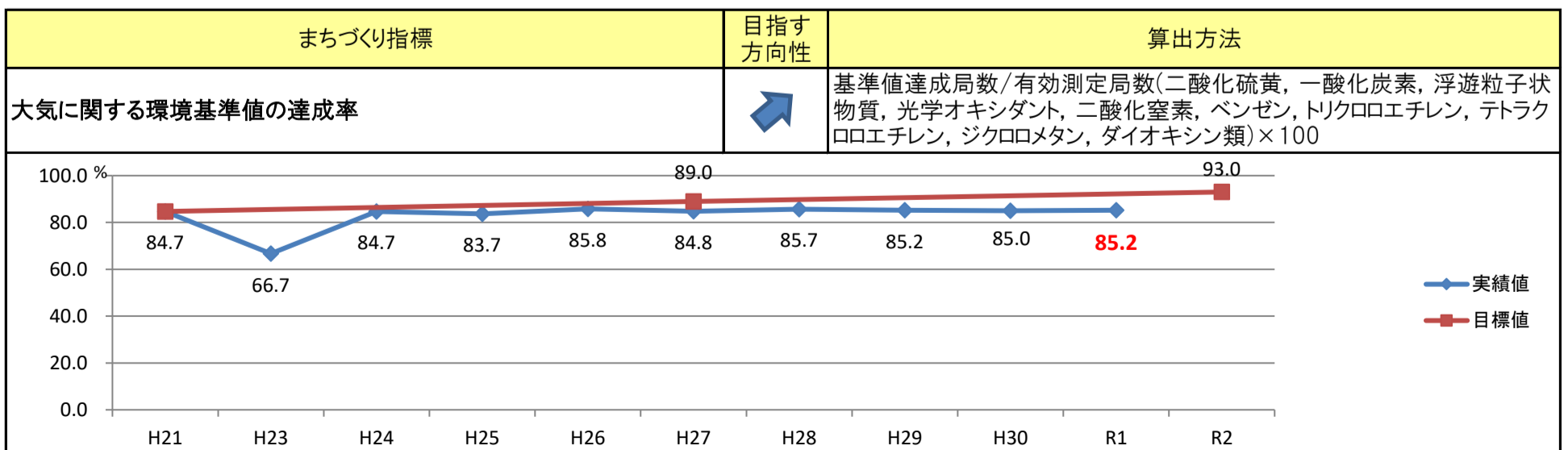
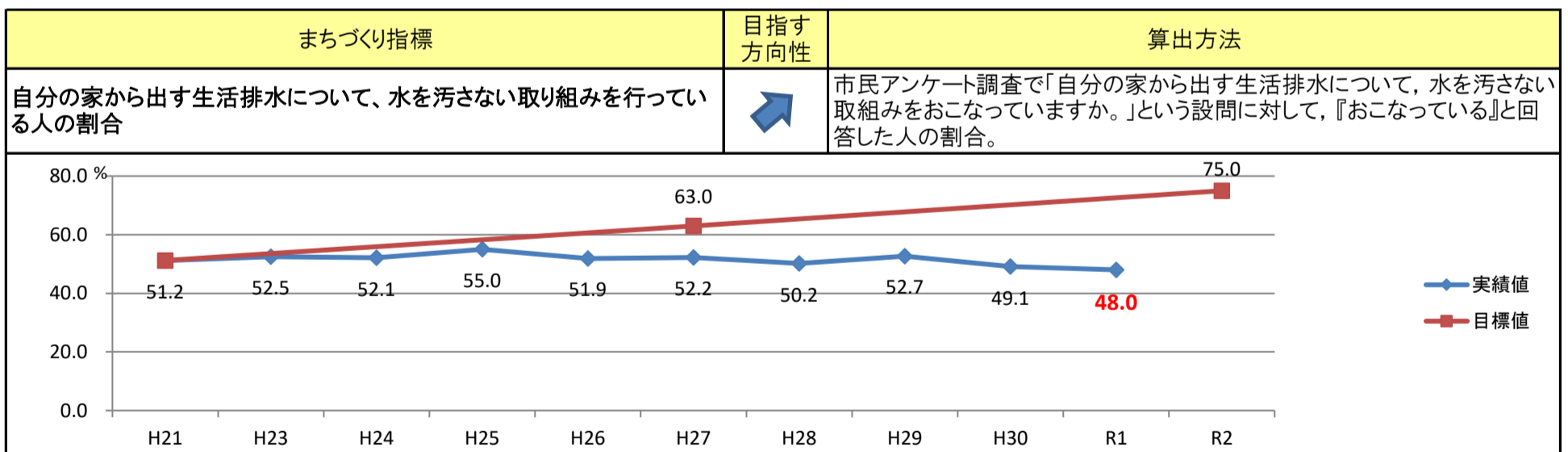
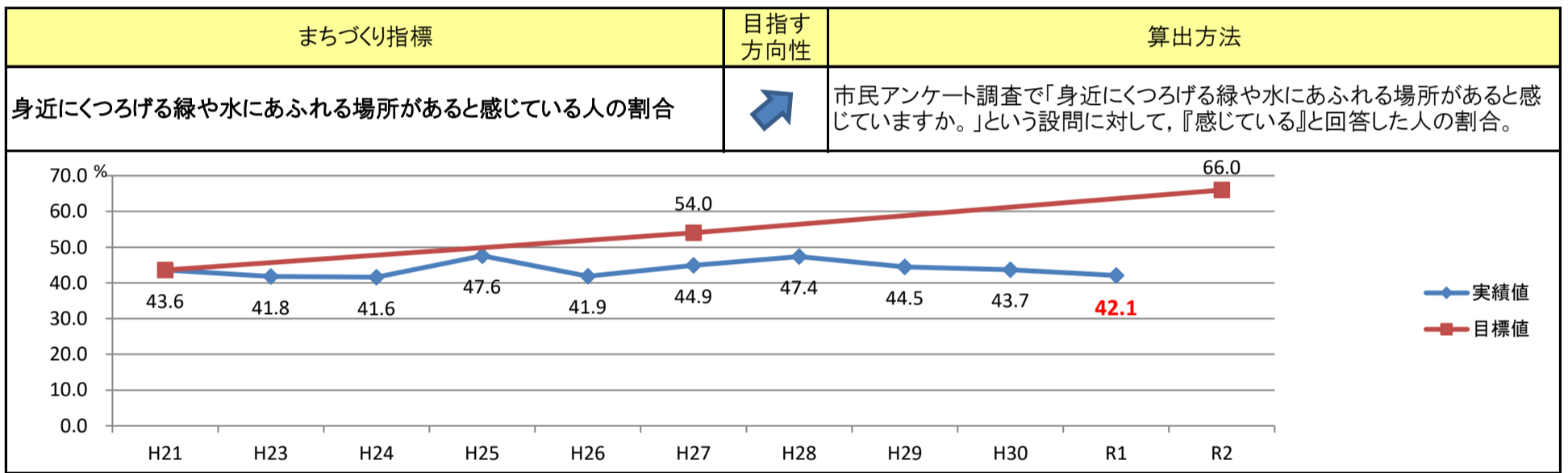


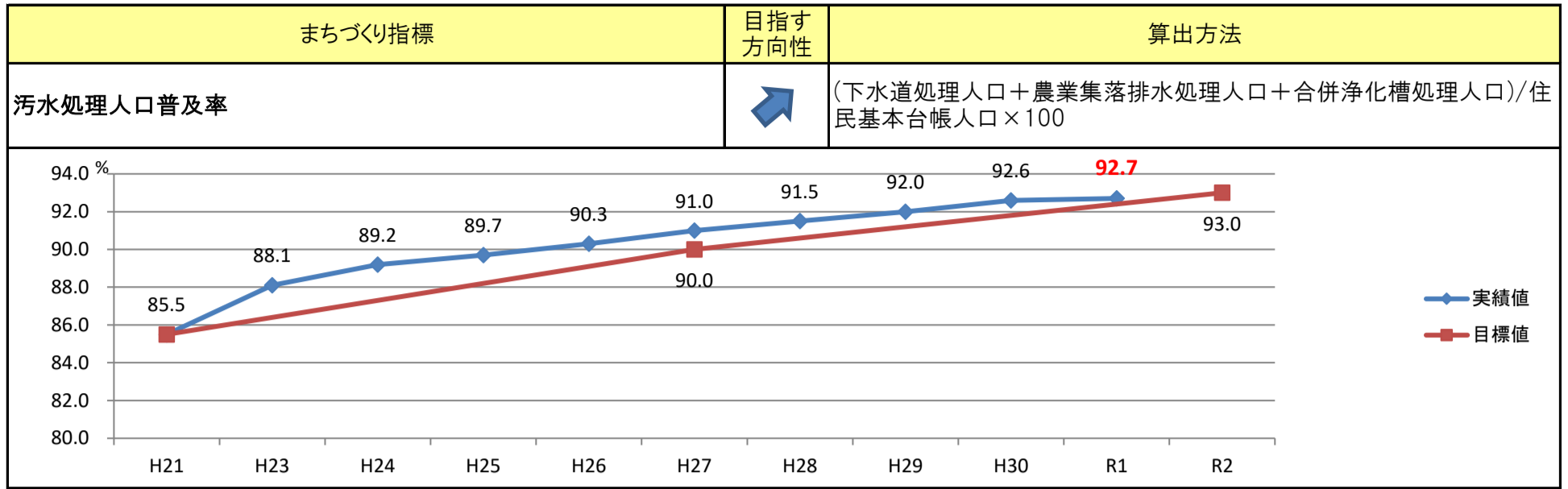
**【快適】** めざまちの姿 市内のすべての地域で、水と空気と大地がきれいである

## 市の基本方針

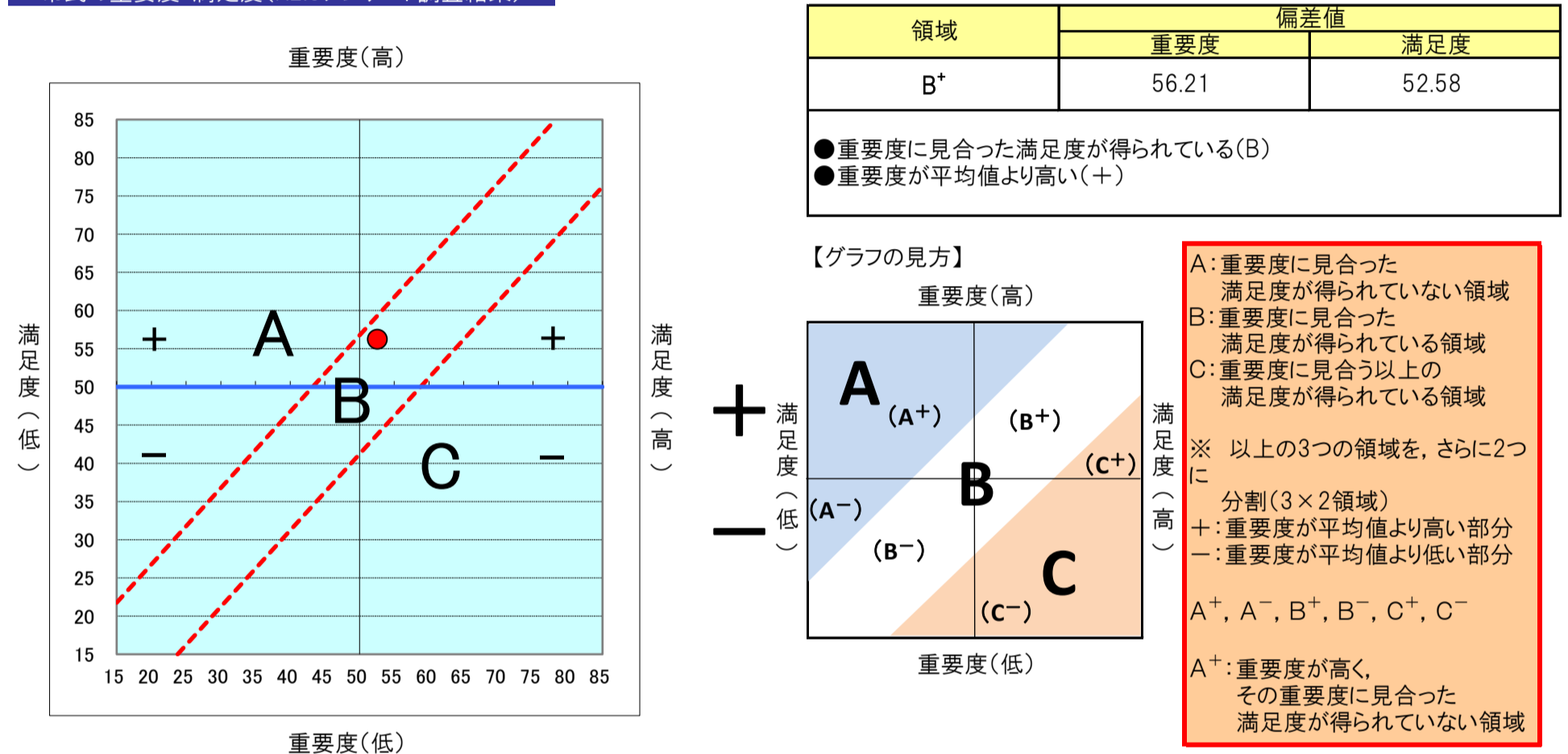
- 大気や公共用水域の環境を的確に把握し、市民にわかりやすく情報を提供します。
- 工場や事業場からの汚染物質の排出監視を効果的に実施し、事業者等への指導を強化することにより汚染物質の排出抑制に努めます。
- 市民や市民公益活動団体、事業者と連携し、大気や水環境の保全に向けた啓発活動や環境整備活動を推進します。
- 下水道や農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽などの汚水処理施設の整備を推進し、公共用水域における良好な水環境を実現します。

## 数値目標





市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I)/令和元年度の主な実績(II)/今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
	大気調査事業	(I) 市内の大気汚染状況の把握と市民への情報提供を目的として実施した。 (II) 市内24カ所の測定局で大気汚染の常時監視をするとともに、7地点で有害大気汚染物質調査を行い、インターネット等を通じて市民への情報提供を実施した。光化学オキシダントを除いた大気汚染物質は環境基準を達成しており、有害大気汚染物質は、市内全地点で環境基準を達成した。 (III) 継続して実施する。	97,137
	大気汚染対策事業	(I) 工場及び事業場の事業活動に伴う大気汚染物質の排出状況等を把握し、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。 (II) 工場や事業場に対し、ばい煙発生施設の届出状況等の確認で、114件の立入調査を実施し、このうち、排出ガスの測定を34施設で実施した。排出ガスは、全ての施設で排出基準を満足していた。 (III) 継続して実施する。	5,623
	ダイオキシン類対策事業	(I) ダイオキシン類に関する必要な規制や措置を行うとともに、環境中のダイオキシン類の実態把握を行うことで、市民の健康の保護を図る。 (II) 大気2地点、公共用水域等25地点で環境調査を実施し、地下水の1地点を除き、環境基準を満足した。発生源である延べ7事業場に対して立入調査を実施し、全ての事業場で排出基準を満足していた。 (III) 継続して実施する。	8,561
	水質調査事業	(I) 工場や事業場からの排水及び公共用水域等の水質の汚濁状況を把握することを目的に実施した。 (II) 河川(18地点)、海域(21地点)の公共用水域の水質監視を実施し、環境基準適合率は、河川で99.2%、海域で91.5%であった。 (III) 継続して実施する。	15,791

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
	水質汚濁防止対策事業	(Ⅰ) 工場や事業場からの排水を規制するとともに、生活排水対策の実施を推進すること等によって、公共用水域等の汚濁の防止を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 工場や事業場に立入し、129事業場、376検体について排水の調査を実施した。また、環境保全推進員制度等により、水環境保全の啓発活動を推進した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	4,628
	騒音振動対策・調査事業	(Ⅰ) 工場及び事業場の事業活動や建設工事に伴う騒音・振動について必要な規制を行うとともに、道路や環境の騒音・振動の実態把握を行うことで、市民の健康を保護し、生活環境を保全する。 (Ⅱ) 騒音規制法で定められた自動車騒音の面的評価(状況の確認)を19路線12地点で実施するとともに、騒音・振動に係る申立に対して、発生源である事業者への調査・指導を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	3,571
	花と緑あふれるまちづくり事業(再掲)	(Ⅰ) 道路、公共施設、街角に花や緑があふれ、住む人々や訪れた人々が緑を楽しむことができるまちづくりを目的として実施した。 (Ⅱ) 市民ボランティアに花苗297,950株、花の種31,500袋を配布し、市内を市民ボランティアの手により植えられた季節の花で飾っている。また、阿知フラワーポッケ等の市管理の花壇の充実を図った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	28,302
	緑化推進事業(花壇設置補助金)(再掲)	(Ⅰ) 花と緑あふれるまちづくりを目指すため市の定める要件を満たして新設される花壇に対し、緑化基金を活用して助成を行った。 (Ⅱ) 補助金制度のPRを行ったが、申請件数は0件であった。 (Ⅲ) 補助金制度のPRを積極的に行い、継続して実施するとともに緑化基金への募金を働きかける。	0
	合併処理浄化槽設置費補助金交付事業	(Ⅰ) 浄化槽設置を推進することにより、家庭排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、快適な生活環境と良好な水環境の実現を目指す。 (Ⅱ) 合併処理浄化槽設置費補助金交付379基 (Ⅲ) 継続して実施する。	176,010
	下水道事業	(Ⅰ) 公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の改善を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 面積62ha、処理人口2,243人の下水道管整備を行うとともに、防災・減災事業として、管きよの更生工事、施設の改築更新等を推し進めた。下水道人口普及率は、80.0%(平成30年度末)から80.6%(令和元年度末)へ0.6%アップした。 (Ⅲ) 継続して実施する。	6,547,306